

## 全国のニホンジカ及びイノシシの生息分布調査について

## 1. 調査方法

ニホンジカ及びイノシシの生息分布調査については、環境省において、昭和 53 年度（1978 年度）、平成 15 年度（2003 年度）、平成 23 年度（2011 年度）及び平成 26 年度（2014 年度）に実施していますが、令和 2 年度（2020 年度）調査では、これまでの調査では生息分布情報が得られていなかった地域を対象として、平成 26 年度（2014 年度）から平成 30 年度（2018 年度）までの間に得られた捕獲許可に基づく捕獲位置情報及び都道府県へのヒアリングによって、各種の生息分布に関する情報を収集し、5 km メッシュ単位で生息分布図を作成しました\*。

なお、都道府県より、過去の捕獲位置情報に疑義があると申告があった分布メッシュについては、平成 23 年度（2011 年度）及び平成 26 年度（2014 年度）の生息分布図から削除しましたが、今回の調査では分布域の減少に関する情報は収集できていない点に留意する必要があります。

## 2. 結果

## ①ニホンジカの分布状況とその変化（図 1）

- ・令和 2 年度（2020 年度）調査で新たに生息分布情報が確認された分布メッシュを含めると、全国の総メッシュ数（17,376 メッシュ）に占める平成 30 年度（2018 年度）までのニホンジカの分布メッシュ数は 11,563 メッシュとなり、全国の総メッシュ数に占めるニホンジカの分布メッシュ数の割合は約 7 割 となっています。
- ・昭和 53 年度（1978 年度）のニホンジカの分布メッシュ数は 4,220 メッシュであったことから、昭和 53 年度（1978 年度）から平成 30 年度（2018 年度）までの 40 年間で、ニホンジカの分布域が約 2.7 倍に拡大していることが示されました。
- ・前回調査が実施された平成 26 年度（2014 年度）から平成 30 年度（2018 年度）までに、新たに 1,190 メッシュで生息分情報が得られ、分布域は約 1.1 倍に拡大していることが示されました。特に、東北地方や北陸地方、中国地方において、分布域が拡大していることが示されました。

## ②イノシシの分布状況とその変化（図 2）

- ・令和 2 年度（2020 年度）調査で新たに生息分布情報が確認された分布メッシュを含めると、全国の総メッシュ数（17,376 メッシュ）に占める平成 30 年度（2018 年度）までのイノシシの分布メッシュ数は 9,641 メッシュとなり、全国の総メッシュ数に占めるイノシシの分布メッシュ数の割合は約 6 割 となっています。
- ・昭和 53 年度（1978 年度）のイノシシの分布メッシュ数は 5,188 メッシュであったことから、昭和 53 年度（1978 年度）から平成 30 年度（2018 年度）までの 40 年間で、イノシシの分布域が約 1.9 倍に拡大していることが示されました。

- ・ 前回調査が実施された平成 26 年度（2014 年度）から平成 30 年度（2018 年度）までに、新たに 649 メッシュで生息分布情報が得られ、分布域は約 1.1 倍に拡大していることが示されました。特に、東北地方や北陸地方、関東地方において分布域が拡大していることが示されました。

※過年度調査との整合を図り、分布の変遷をみるため、日本測地系に基づくデータを使用しました。

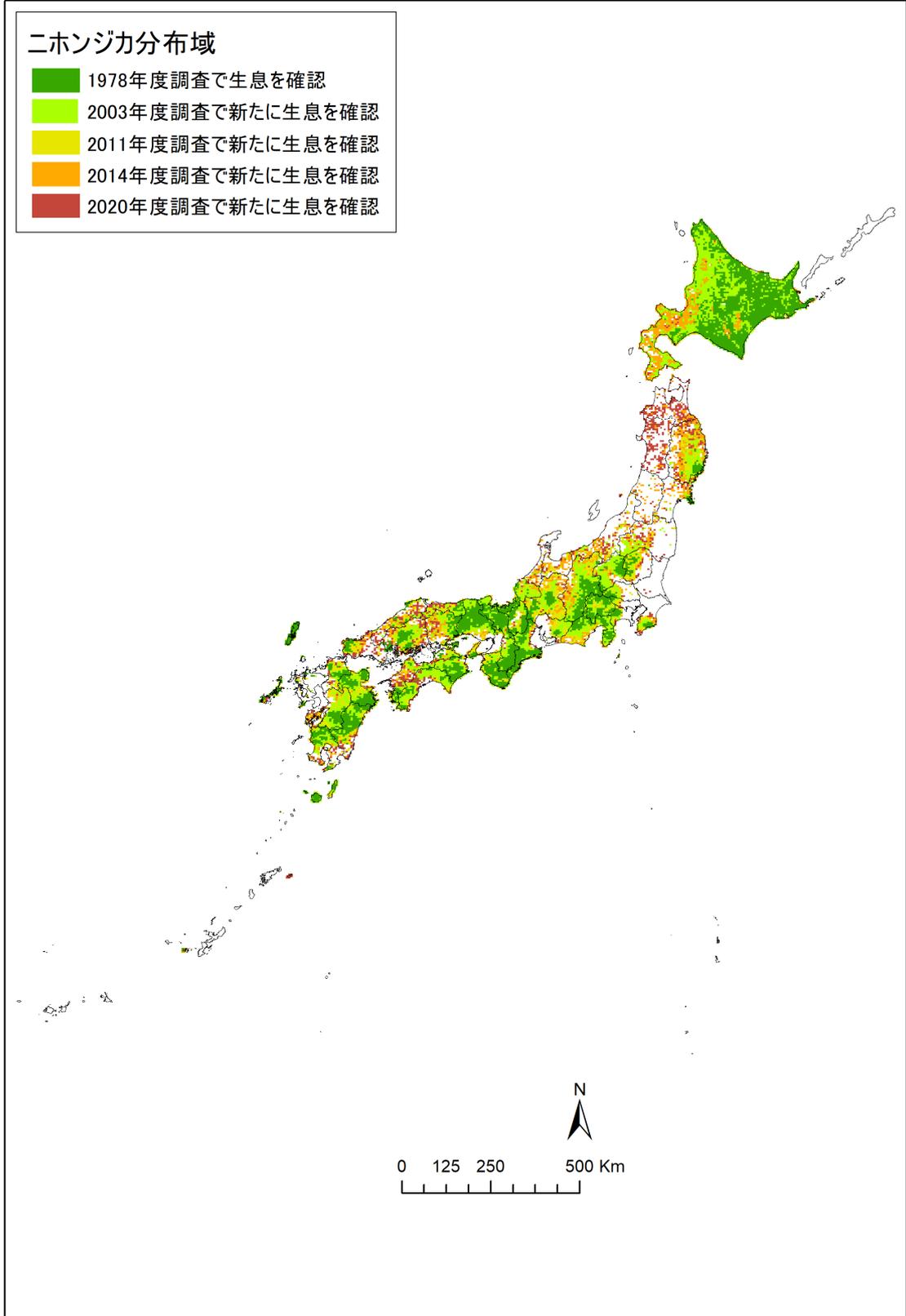


図1 ニホンジカ 生息分布図

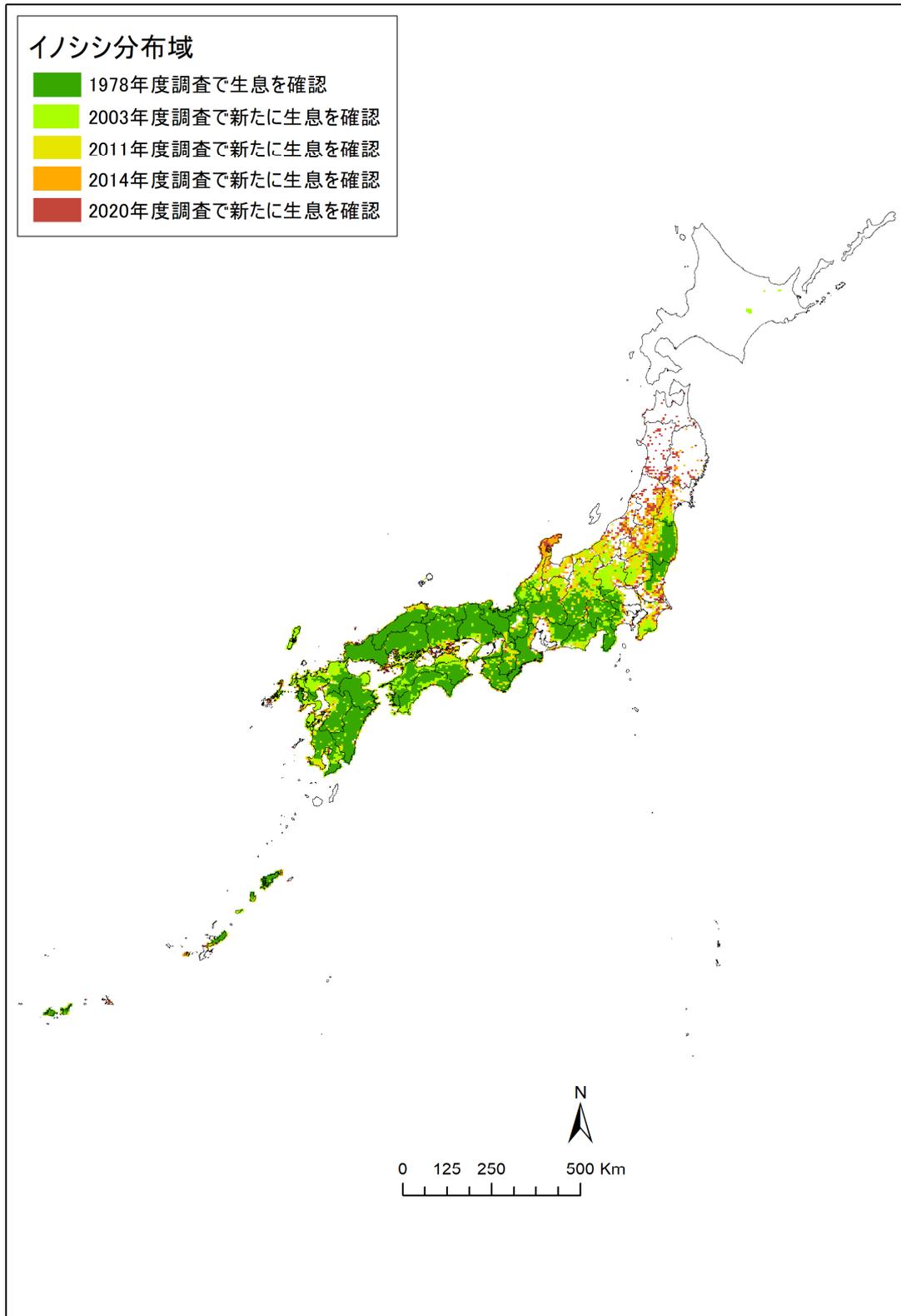


図2 イノシシ 生息分布図

※ 2003年度調査において北海道で分布が確認されているが、北海道からの捕獲報告をもとに作成したもの。ただし、北海道によると、これらは飼育下由来のイノブタを捕獲したものであり、北海道では自然状態でのイノシシの生息はこれまで確認されていない。